

# カツオ 大西洋

Skipjack, *Katsuwonus pelamis*



## 管理・関係機関

大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)

## 生物学的特性

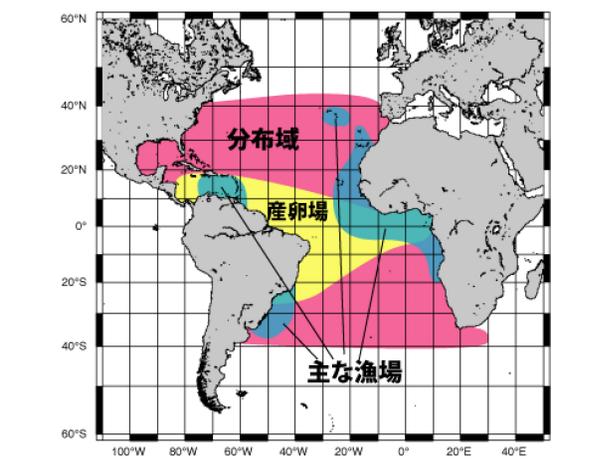
- 体長・体重：尾叉長 100 cm・15 kg
- 寿命：6 歳以上
- 成熟開始年齢：満 1～2 歳
- 産卵期・産卵場：周年・表面水温 24℃以上の海域
- 索餌期・索餌場：熱帯～温帯域
- 食性：魚類、甲殻類、頭足類
- 捕食者：まぐろ・かじき類、さめ類、海鳥類など

## 利用・用途

缶詰など加工品

## 漁業の特徴

主要な漁業は、東部大西洋でのスペインのまき網、ガーナ、スペインなどの竿釣り、西部大西洋でのブラジルなどの竿釣り、ベネズエラによるまき網である。ひき縄やはえ縄でもわずかに漁獲される。東部大西洋では、近年パナマの漁獲量が増加し、ポルトガルよりも多くなった。主な漁場は、アフリカ西岸ギニア湾の赤道を中心とした熱帯域～北西岸モーリタニア沖のまき網漁場と、ブラジル南東岸沖の竿釣り漁場である。まき網は、1991 年から FAD（人工浮き漁礁）操業が本格化し、漁獲量が増大した。



大西洋のカツオの分布域、産卵場および主な漁場

## 漁獲の動向

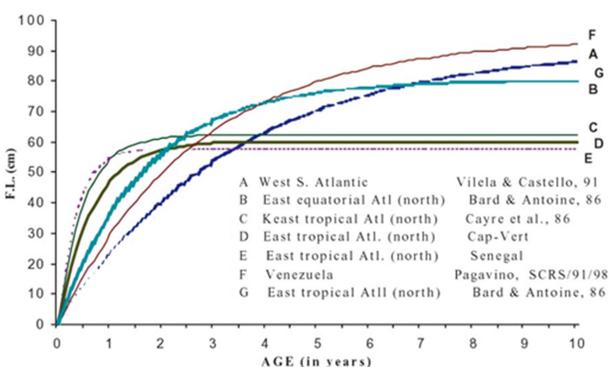
年間漁獲量は 1960 年代には 4 千～5 万トン、1970 年代には 5 万～12 万トン、1980 年代には 11 万～16 万トンで推移した。まき網の FAD 操業開始により、1991 年 22 万トン、1993 年の 20.9 万トンがピークで、1995 年以降は 12 万～19 万トンで推移している。2011 年以降、漁獲量は 20 万トンを超えるようになり、2017 年には 26.6 万トンと歴史的に最も多い漁獲量を記録した。日本の竿釣りは、1980 年代前半まで東部大西洋で操業し、1976～1981 年には 1.2 万～1.7 万トンを漁獲したが、現在は行われていない。

## 資源状態

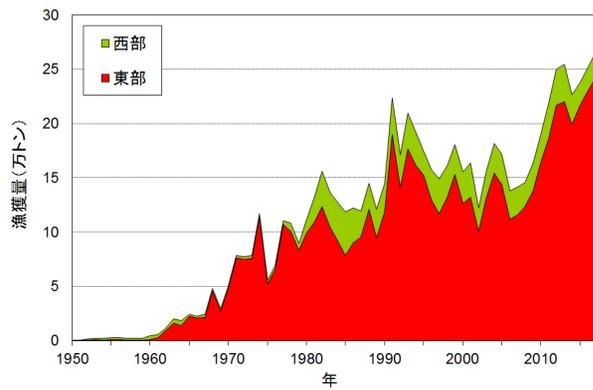
2014 年 6 月に ICCAT 科学委員会において資源評価が実施された。大西洋における本種の生物・漁業学的特徴を考慮して東部・西部大西洋の 2 海域に区分して資源評価を実施した。東部大西洋では 2 種類のプロダクションモデル (BSP, ASPIC) およびその他の 2 種類のモデル (漁獲量のみを用いる資源評価モデル、Gedamke and Hoening model) を用いて解析を試みた。これらのモデルからは信頼性のある MSY が得られなかったが、乱獲状態に陥っていることを示す指標も認められていない。西部大西洋では MSY は 30,000～32,000 トンと推定され、資源状態は MSY からの相対値で示された。B<sub>2013</sub>/B<sub>MSY</sub> はおよそ 1.3、F<sub>2013</sub>/F<sub>MSY</sub> はおよそ 0.7 である可能性から、西部大西洋では乱獲状態には陥っていないと推定された。以上から、資源は高位で横ばいと判断された。

## 管理方策

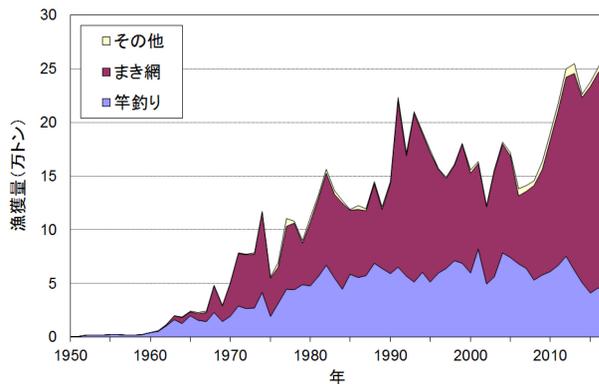
2014 年 11 月の ICCAT 年次会合において、データ不足に起因する資源評価の不確実性が SCRS から指摘されていることを踏まえ、既存の熱帯まぐろ保存管理措置に含める形で、管理方策が初めて設定されることとなった。それにより、カツオを漁獲する漁船の ICCAT への登録、FAD 操業の禁漁区・禁漁期などが設定されることとなった。FAD 操業の禁漁区・禁漁期は新たなものが 2015 年に決定、2016 年に発行され、2017 年より適用され 1～2 月においてアフリカ沿岸域～西経 20 度、南緯 4 度～北緯 5 度の範囲となっている。



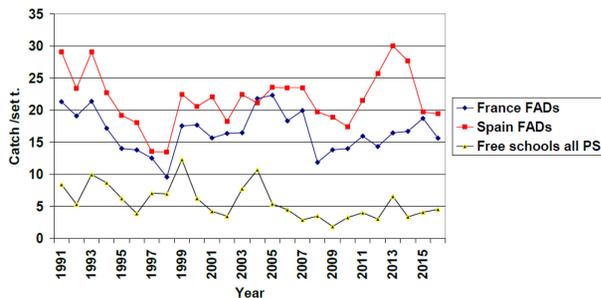
大西洋のカツオの年齢と体長の関係  
A～G の曲線は各海域で報告されたカツオの成長を示す。



東部および西部大西洋におけるカツオ漁獲量の年変化

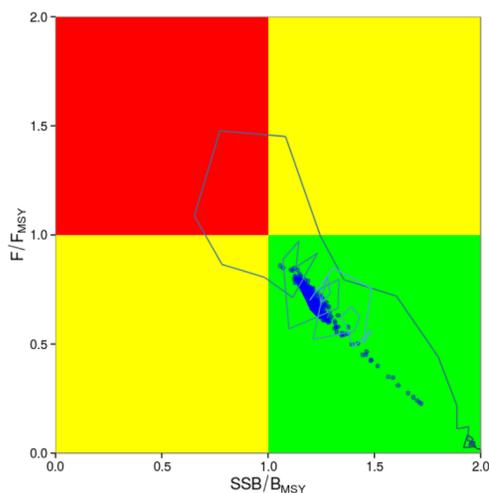


大西洋におけるカツオの漁法別漁獲量の年変化

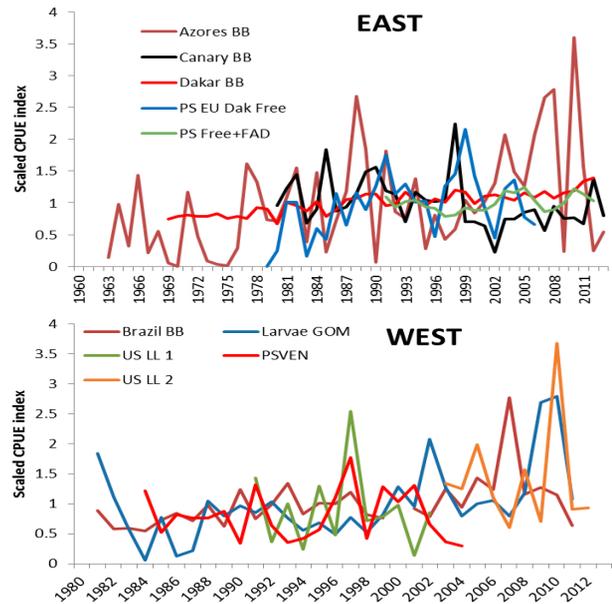


東部大西洋におけるまき網によるカツオ漁獲量（1 操業あたり漁獲量）の経年変化

France FADs：フランスのまき網船・FAD 操業、Spain FADs：スペイン・その他のまき網による FAD 操業、Free schools all PS：まき網による素群れ操業。



Schaefer 型の ASPIC から推定された西部大西洋のカツオにおける  $B/B_{MSY}$  と  $F/F_{MSY}$  の歴史的推移



東部大西洋（上）および西部大西洋（下）におけるカツオ CPUE の経年変化

Azores BB：アゾレス諸島の竿釣り、Brazil BB：ブラジルの竿釣り、Canary BB：カナリア諸島の竿釣り、Dakar BB：セネガルの竿釣り、Larvae GOM：メキシコ湾における仔魚採集データ、PS EU Dak Free：ダカールに水揚げされたヨーロッパまき網船の素群れ操業、PS Free+FAD：まき網（素群れ＋FAD 操業）、PSVEN：ベネズエラのまき網、US LL：米国のはえ縄。

カツオ（大西洋）の資源の現況（要約表）

|                |   |
|----------------|---|
| 資源水準           | 中位 <sup>*1</sup> （西部）   |
| 資源動向           | 横ばい <sup>*1</sup> （西部）  |
| 世界の漁獲量（最近5年間）  | 22.7 万～26.6 万トン<br>最近（2017）年：26.6 万トン<br>平均：24.7 万トン<br>（2013～2017 年） |
| 我が国の漁獲量（最近5年間） | 1～5 トン<br>最近（2017）年：1 トン<br>平均：3 トン<br>（2013～2017 年）                  |
| 管理目標           | MSY（3.0-3.2 万トン（西部））  |
| 資源評価の方法        | プロダクションモデル（BSP、ASPIC）など   |
| 資源の状態          | 悪化の兆候は認められない  |
| 管理措置           | ・漁船登録<br>・FAD 操業の禁漁区・禁漁期  |
| 最新の資源評価年       | 2014 年  |
| 次回の資源評価年       | 2020 年  |

<sup>\*1</sup>2014 年資源評価の資源状態および過去 5 年の漁獲量の動向に基づく